

2023年1月31日

公益財団法人日本陸上競技連盟

バンコク 2023 アジア陸上競技選手権大会 日本代表選手選考要項

1. 編成方針

パリ 2024 オリンピック競技大会にむけて、本大会での成果は重要である。その過程において、本大会は 2023 年度の重要競技大会と位置づけられる。このことから本大会では、パリ 2024 オリンピック競技大会でのメダル・入賞を期待される競技者および本大会でメダル・入賞が期待できる競技者を戦略的に的に派遣する。

2. 期日

2023年7月12日（水）～7月16日（日）

3. 場所

バンコク（タイ）

4. 種目（案）

（1）男子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、110mH、400mH、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技、
4×100m リレー、4×400m リレー

（2）女子

100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、3000mSC、100mH、400mH、
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技、
4×100m リレー、4×400m リレー

（3）混合

4×400m リレー

5. 選考競技会

（1）個人種目

- 1) 第 107 回日本陸上競技選手権大会（2023／大阪）
- 2) 第 107 回日本陸上競技選手権大会・混成競技（2023／秋田）
- 3) 日本グランプリシリーズ・10000m

日本グランプリシリーズ延岡大会 第 34 回ゴールデンゲームズ in のべおか（2023／宮崎）

6. 選考基準

各種目における選考の優先順位は、下記の通り。

(1) 個人種目（男女 10000m以外）

- 1) ワイルドカードによりブダペスト 2023 世界陸上競技選手権大会（以下「ブダペスト 2023 世界選手権」という。）の参加資格を得た競技者。
- 2) オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会（以下「オレゴン 2022 世界選手権」という。）で 8 位以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2023 年 1 月 1 日から第 107 回日本陸上競技選手権大会（以下「日本選手権」という。）終了日までに、ワールドランキング対象競技会（2023 年より WA が設ける制度によりワールドランキングの対象として承認された競技会）においてブダペスト 2023 世界選手権の参加標準記録を満たした競技者。
- 3) 日本選手権 3 位以内の成績を収めた競技者であって、日本選手権終了時点までにブダペスト 2023 世界選手権の参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ① 日本選手権の順位
 - a. ラウンド進出上位
 - b. 同じラウンド内で比較する場合は記録上位
 - ② ワールドランキングのポイント*
 - ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2023 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績
- 4) 日本選手権の成績が反映された直後のワールドランキング（1 カ国 3 名カウント）*において、ブダペスト 2023 世界選手権で定められた各種目のターゲットナンバー相当以上のポイントを有する競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。
 - ① 日本選手権の順位
 - a. ラウンド進出上位
 - b. 同じラウンド内で比較する場合は上位ラウンドでの記録上位
 - ② ワールドランキングのポイント*
- 5) 日本選手権の成績が反映された直後のワールドランキング（1 カ国 3 名カウント）*において、ブダペスト 2023 世界選手権で定められた各種目のターゲットナンバーに入ることが期待される競技者。
 - ① 日本選手権の順位
 - a. ラウンド進出上位
 - b. 同じラウンド内で比較する場合は上位ラウンドでの記録上位
 - ② ワールドランキングのポイント
- 6) 本大会においてメダルまたは入賞が期待され、強化委員会が推薦する競技者。

※ WA ワールドランキングは以下のサイトを参照：

<https://www.worldathletics.org/world-rankings/>

(2) 個人種目（男女 10000m）

- 1) ブダペスト 2023 世界選手権のワイルドカードによる参加資格を得た競技者。
- 2) オレゴン 2022 世界選手権で 8 位以内の成績を収めた日本人最上位の競技者で、2023 年 1 月 1

日から日本選手権終了日までに、ワールドランキング対象競技会においてブダペスト 2023 世界選手権の参加標準記録を満たした競技者。

3) 選考競技会 3 位以内の成績を収めた競技者であって、選考競技会終了時点までにブダペスト 2023 世界選手権の参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。

- ① 選考競技会の順位
- ② 参加標準記録有効期間開始日から日本選手権終了時点までの記録
- ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2023 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績

4) ブダペスト 2023 世界選手権参加標準記録を満たした競技者。ただし、下記の項目（数字の若い順に優先）により優先順位を定める。

- ① 選考競技会の順位
- ② 参加標準記録有効期間開始から選考競技会までの記録
- ③ 上記①～②の基準で優劣がつかない場合は、2023 年度に開催される国内外主要競技会（日本グランプリシリーズ等）の成績

5) 選考競技会 8 位以内の成績を収めた上位の競技者から選考方針に則り選考する。

(3) リレー種目

リレー種目の代表の選考は、個人種目に準じて選考するが、リレーの特性を考慮する。

7. 選考方法

選考基準に則り、強化委員会にて選考原案を作成し 2023 年 6 月上旬（予定）に選考委員会で決定する。また、選考後の代表選手の入替えについては、強化委員会にて変更案を作成し、専務理事が承認する。

8. 補足

- (1) 本大会の期日、種目、参加資格等がアジア陸上競技連盟から発表されたあと、選考要項の変更の可能性はある。
- (2) 種目毎の代表は、アジア陸上競技連盟が定めるエントリー数の上限の枠を保證するものではない。
- (3) 代表選手は本連盟または大会主催団体が定める義務及びその他必要事項を遵守するものとする。
- (4) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
 - 1) アンチ・ドーピング規則に反した場合
 - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
 - 3) 前記 (3) を遵守しない場合
- (5) 代表選手は、選考後のトレーニング状況を報告すると共に、医事委員会がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。
- (6) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会、選考基準及び選考方法について、専務理事の決定により、変更することができ

る。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上